



令和4年度 市川中2年グランドデザイン



学年経営目標

お互いの可能性を信じ、目標に向かって挑戦する生徒・集団の育成

今年度の重点

確かな学力の育成

- ・学習意欲を高めるための授業の工夫
対話のある授業を計画的に実施し、生徒一人ひとりの活動のある場を授業をめざす。
- ・自主学習の取り組み
家庭学習の習慣化をはかるとともに、知識の定着を意識した方法を指導する。
自分の学習傾向を記録し、自己理解を深める。
- ・テストの取り組み
見通しを持って、計画的に取り組むことができるよう指導を工夫する。
- ・進路学習
卒業後のプロセスを学び、自分のどんな力を伸ばすべきかを考える機会を増やす。

豊かな心の育成

- ・一人ひとりの存在感ある集団づくり
学級活動だけでなく、学年の活動を通して、一人ひとりが役割を担い、集団に参画する機会を増やす。
- ・自他を尊重できる心の育成
自分の可能性に気づく指導を工夫する。また、他者の努力に気づき、相手の気持ちを大切にしよう指導する。
- ・新しいことへの挑戦
昨年度の取り組みを土台にして、さらに発展させたとりくみを考える思考力と創造力を養う。
- ・行動の自律
学年職員全員で道徳の授業を行い、多様な考えに触れる。
他者を傷つける言動を許さない集団づくりを行う。

健康・安全

- ・自立した生活に向けた指導
優先させるべき事項を明確にして、時間管理の意識を持って生活するよう指導し、生活にメリハリを持たせる。
- ・清掃活動の充実、適切な感染症対策
- ・情報リテラシー学習
機会を設け、ネット社会やSNSの特色、適切な活用を学ぶ。
- ・インターネットのよりよい活用
学校生活での効果的なタブレット活用について教師生徒が一緒に試行錯誤する。

地域との連携

- ・情報発信、保護者との連携
学級通信、学年通信を適宜発行し、学校の様子を発信する。
個々のよりよい成長のために、保護者と連携し学校の様子を伝える機会を多く持つ。
- ・地域参画
地域の一員として、社会参画を促す指導をする。
職場体験を通して、地元の企業や働く人々の様子に触れ、地域を理解するとともに、自己の進路に生かす。(みさと学)
地域の人材を生かした学習活動を取り入れる。

今年度の重点取組及び分掌

- ・授業形態を工夫し、意見交流ができる場面を設ける(全)
- ・生徒のつぶやきをひろう授業を心がける。(全)
- ・自主学習を回収し、生徒の学習状況を確認する。(全)
- ・基礎知識を問うミニテストを実施する。(各教科)
- ・学力向上に向けた取り組みを行う。(市瀬)
- ・学習カレンダーを掲示する。(小林)
- ・見通しをもった自主学習ができるよう、学習内容を掲示する。(全)
- ・タブレットを活用した授業の工夫・改善を提案する。(串松)
- ・テスト前放課後学習会を実施し、知識の定着を図る(全)

- ・学級を一人一役を基本とした、係・当番活動を工夫する。(担任)
- ・行事などを通して、お互いの良いところを認め合い、素直に気持ちを表現する活動を行う。(串松)
- ・自分の良さを見つける活動を行う。(担任)
- ・道徳の授業を通して、他者理解の力を伸ばす。(雨宮)
- ・他者理解を深め、それぞれの個性を認め合えるよう、インクルーシブ教育を進める。(岸本・雨宮)
- ・関係機関と連携し、生徒のよりよい成長を多くの人で支えるとともに、卒業後の支援につなげる。(小林・岸本)

- ・学校生活上の優先事項を明確にする。(担任)
- ・テスト前の学習時間を取り組み表記録し、事後のふり返りを次に生かす取り組みを行う。(市瀬)
- ・教室環境の整備を行う。(担任)
- ・教室環境を快適に保つための指導を行う。(全)
- ・給食時の感染予防を徹底する。(全)
- ・情報リテラシーについて取り上げる授業を実施する。(市瀬)
- ・タブレットの活用法を考え提案し、試行する。(串松)

- ・学級通信を発行し、日常の様子を保護者に伝える。(担任)
- ・学年通信を発行し、学年の様子や予定を保護者に伝える。(小林)
- ・職場体験学習を通して、自分たちが住む地域の新たな一面を発見する活動を行う。(全)
- ・地域への働きかけを伴う活動を企画する。(串松)
- ・教科学習を含め、地域の人材を活用した学習活動を企画する。(全)